

令和7年度 県土整備部 環境配慮事例報告書

事業主管課	河川整備課
実施機関	県土整備部(阿南)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	阿南市	
事業の規模・状況	1400 m	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

- ・ 大津田川は、河床勾配が非常に緩い(1/1500程度)こと、県道(大津田橋)上流域の地盤が低いことから溢水による 浸水被害を繰り返している。
- ・ このことから、昭和45年度より1,400mの区間を対象に流下能力を向上するため、河川改修に着手し、河道幅幅ならびに河床掘削を中心に治水安全度の向上に努めているところ。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○		○				○	○	○

【特に配慮した環境要素と実施事項】

(環境アドバイザーの活用)

- ・ 大津田川周辺は、農業用水路の生態系が良好に維持され、貴重な水生植物が多く生育
- ・ 平成13年、環境省の「日本の重要湿地500」に選定され、重要植物種であるオグラコウホネも生育(環境省:絶滅危惧Ⅱ類、徳島県版:絶滅危惧ⅠB類)
- ・ このことから、毎年度、専門家である「徳島県植物研究会会長(木下先生)」に助言を求め、環境保全はもちろんのこと、河川改修の早期完成にも寄与(外来植物オオフサモの駆除)
- ・ 外来植物は、繁殖力が高く、放置すると河道内を繁茂し、他の生物、治水、利水への影響が懸念されることから、実現可能な範囲(予算、作業量等)で駆除

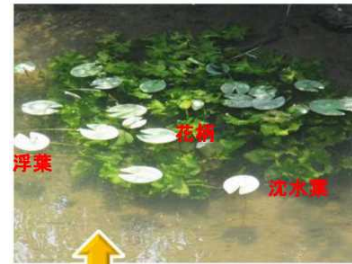
【目標に対する達成状況】

平成30年度以降に移植した「76群落」のうち「65群落」で定着が確認(定着率:約86%)

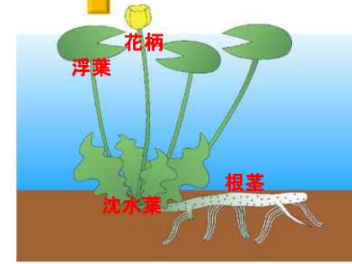
【実施事項に対する評価】

実施者	7年程度の僅かなデータであるため、引き続き、重要植物種であるオグラコウホネの移植、ならびに、モニタリング調査を実施し知見の向上に努める
主管課	河川改修後もオグラコウホネが生育できる環境が創出されていることが確認できた。引き続き、モニタリングを実施しながら河川環境の整備と保全に取り組む。
専門家	

保全対象種

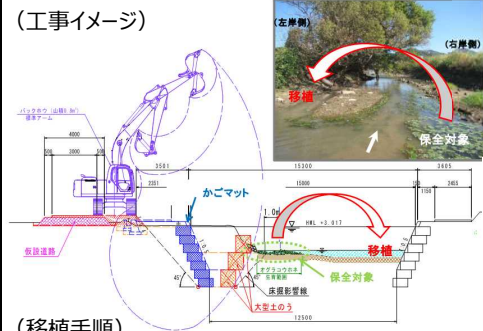


科 目: スイレン科
 生息地: ため池、河川、水路など
 花 期: 6~8月
 特 徴: 多年草の水草
 やや堅く太い白色の根茎が地中を横走、分枝した根茎の先端から沈水葉と浮葉を根生



写真, 図面等

(工事イメージ)



名称	オオフサモ	オグラコウホネ
指定	特定外来生物	絶滅危惧種
分類	アリノコガ科	スイレン科
繁殖時期	溜池、河川、水路	溜池、河川、水路
原産	南米	日本
繁殖期	5~6月	6~10月
その他	多年草、浮水植物	多年草、浮水植物

(外来植物オオフサモの駆除)



(移植手順)

移植開始

- 1 移植先の事前調査
- 2 移植対象範囲の確認
- 3 根茎の採取
- 4 移植先の掘削
- 5 根茎の移植
- 6 目印等の設置

移植完了

③根茎の採取

④移植先の掘削

⑤根茎の移植

⑥目印等の設置

【創意工夫】U字ピン

【創意工夫】二重ネット

① 流出防止ネットの設置

② 夕毛網による根茎回収

③ 根茎の採取

④ 採取した根茎

⑤ 根茎の移植

【創意工夫】二重ネット